

平成 26 年度 第 10 回東区協議会次第

日時：平成 27 年 1 月 27 日（火）午後 1 時 30 分

会場：東区役所 31・32 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 協議事項について

平成 26 年度地域力向上事業の中間評価について

【区振興課】

(2) 地域課題について

区協議会委員会報告について

4 その他

(1) その他

(2) 2 月の開催予定 平成 27 年 2 月 23 日（月）午後 1 時 30 分から
会場 東区役所 3 階 31・32 会議室

3 月の開催予定 平成 27 年 3 月 23 日（月）午後 1 時 30 分から
会場 東区役所 3 階 31・32 会議室

5 閉 会

平成26年度 地域力向上事業 中間評価

氏名	
----	--

【助成事業】

(円・点数)

No.	事業名	中間評価		所管課	市執行額 (補助金額)
		状況	点数		
1	自然と文化の体験を十湖池で	完了	16	区振興課	90,000
2	遊休農地を利用してそば作りで地域の活性化	実施中	15	区振興課	205,000
3	有玉伝統文化継承事業（流鏝馬・獅子舞）	完了	15	区振興課	181,000
4	中野町煙火大会2014	完了	16	区振興課	2,000,000
5	大船渡市から学ぶ地域防災と大船渡応援イベントの開催	完了	17	区振興課	660,000
6	蒲ザクラ植樹祭	実施中	17	区振興課	498,000
7	地域の若者の未来を考える会	実施中	18	区振興課	105,000
				小計	3,739,000

【区民活動・文化振興事業】

(円・点数)

No.	事業名	中間評価		所管課	市執行額 (予定額含む)
		状況	点数		
1	第6回東区長杯キンボール大会	実施中	16	区民生活課	365,000
2	『東区・家康公ゆかりの里』推進事業	実施中	17	区民生活課	950,000
3	東区地域福祉講演会	完了	17	社会福祉課	280,000
4	東区大型商業施設との連携事業	完了	17	長寿保険課 区振興課	68,094
5	東区市民映画音楽祭2014	完了	18	区振興課	1,307,000
				小計	2,970,094

【区課題解決事業】

(円・点数)

No.	事業名	中間評価		所管課	市執行額 (予定額含む)
		状況	点数		
1	東区 交通安全声かけ運動 ～交通事故ワースト1脱出大作戦～	実施中	18	区振興課	486,000
2	健康力アップ in 東区	完了	16	健康づくり課	84,304
3	中学生自転車危険予知体験教室	完了	18	区振興課	891,288
4	ノルディック・ウォークで健康力アップ	完了	15	健康づくり課	50,000
				小計	1,461,592
				合計	8,170,686

助成事業 No.1

所属名 区振興課

現状 完了

事業名	団体名
自然と文化の体験を十湖池で	東区の自然と文化を残そう会

事業目的	地域住民や次世代との交流・協働を通じて、自然・文化の再生～定着に向けた醸成づくりをする。また、市野町出身で鳴門市で起業した富田製菓創業者（富田久三郎）が、鳴門の俳人幻住庵二世と十湖翁を引き合わせた経緯・交流をたどる。				
対象	区民及び来訪者				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇里池（十湖池）の環境整備活動 <ul style="list-style-type: none"> ・草刈や樹木の手入れ等（毎月2回） ◇里地（遊休農地）での野菜栽培 <ul style="list-style-type: none"> ・野菜栽培、土との触れ合い体験 ・農産物（ジャガイモ、サツマイモ、落花生等） ◇探検会・収穫祭の実施（年2回（8月と10月）） <ul style="list-style-type: none"> 浜松東高生、地元住民ボランティアの参加を得て、十湖池で実施。 ・農産物（ジャガイモ、サツマイモ、落花生等）の収穫体験 ・水生動植物の観察体験 ・水鉄砲、笹舟、竹とんぼ、竹馬、凧（手作り）体験 ・農具の使い方体験 				
成果	<ul style="list-style-type: none"> ◇里池（十湖池）の環境整備活動・・・毎回4人程度参加（毎月2回実施） <ul style="list-style-type: none"> ・十湖池は、自由に立ち寄ることが出来、憩の場、季節を感じられる環境となっている。 ◇里地（遊休農地）での野菜栽培・・・毎回10人程度参加（6回実施） ◇収穫祭の実施（年2回（8月と10月））・・・各回40人程度参加（高校生8人程度参加） <ul style="list-style-type: none"> ・8月と10月の収穫祭では、各回40名程度の参加者があり、水生動植物の観察や水鉄砲などを手づくりするなど行った。 				
事業費	総事業費	192,220 円	補助金額	90,000 円	
評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	
	高い				
	(1)東区らしさ (住みよい地域づくり)	1	2	3	(4)
	(2)補助事業の公益性	1	2	3	(4)
	(3)行政関与・補助の必要性	1	2	3	(4)
(4)補助の効果	1	2	3	(4)	
合計	16 点				
地域力向上事業実施年度	22	23	(24)	(25)	
	(26)	※23年度は100夢プロジェクトで実施			
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・東高等学校生徒（ボランティア部・園芸部・先生など）が、地域にある自然と触れ合うことにより、自主的に十湖池に花壇を作るなど学校及び地域との連携に繋げることができた。 ・地域の自然に対する関心が高まり、十湖池の活動で広がった人のつながりが継続・拡大していくことを期待する。 				
区協議会					

助成事業 No.2

所属名 区振興課

現 状 実施中

事業名	団体名
遊休農地を利用してそば作りで地域の活性化	地域の食の自給率を上げる会

事業目的	色々な事情で農地を管理できないことは、地域にとって決して好ましいことではない。これらの農地を借りて、地域の有志の協力でそばを栽培し、北遠地区の方々と交えてそば打ちを行い、各種団体との交流も図りたい。					
対象	区民					
内容	5月頃～ 遊休農地を耕作 6月 種まき 8月頃 収穫 その後、学校や各種団体の協力を得る中で、そば打ちの体験会を実施する。 そば打ちの講師を北遠の団体等に依頼して、北遠との交流も図っていく。					
成果	地域にある遊休農地のうち、約2,500㎡を利活用することができた。 5月に農地を耕作、6月に種まきし、8月に収穫することができた。収穫量は60kgであった。 (毎回会員3～5人程度が参加) <実施予定> 2月10日に中ノ町小学校でそば打ち体験会を実施予定 2月18日に天竜協働センターでそば打ち体験会を実施予定 3月にグループホームひまわりにてそば打ち体験会を実施予定					
事業費	総事業費	410,000 円	補助金額	205,000 円		
評価	評価点数					
		低い	やや低い	普通	やや高い	高い
	(1)東区らしさ (住みよい地域づくり)	1	2	3	4	5
	(2)補助事業の公益性	1	2	3	4	5
	(3)行政関与・ 補助の必要性	1	2	3	4	5
	(4)補助の効果	1	2	3	4	5
合 計	15 点					
地域力向上事業実施年度	22 23 24 25 26 ※23年度は100夢プロジェクトで実施					
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地(約2,500㎡)を利用して、そばを栽培し60kg収穫することができた。 また、そば打ちの講師である北遠の団体とも継続して連携しており、そばが人と人、地域を結んでいる。 今後、そば打ち体験を通じて地域住民と交流を図る。 ・そば打ち体験会など、一般参加ができる範囲で、多くの方がこの事業に参加し、より広く交流が進むことを期待する。 					
区協議会						

助成事業 No.3

所属名 区振興課

現 状 完了

事業名	団体名
有玉伝統文化継承事業（流鏝馬・獅子舞）	有玉伝統文化継承事業流鏝馬実行委員会

事業目的	徳川家康から有玉の高林家に馬を寄進されたことから、流鏝馬が行われるようになった。獅子舞を含め、400年の歴史を引き継ぐ伝統文化として、より多くの市民に知っていただきたい。今後も区民の交流や魅力ある区づくり、まちづくりに寄与するために活動する。				
対象	区民及び来訪者				
内容	流鏝馬、獅子舞の伝統行事の実施。 併せて、有玉小と積志小の児童に、流鏝馬等、伝統文化に関する絵をかいてもらい、境内に展示する。				
成果	<p>実施日：平成26年10月12日（日） 会場：有玉南町 有玉神社 来場者：2,000人以上</p> <p>《流鏝馬》一の馬、二の馬、三の馬と3頭の馬を用いる元来の実施形態で、一番の矢から三番の矢を的に向かって交互に射ち、勝敗を競った。 《獅子舞》獅子舞の笛や太鼓は、有玉小学校児童15名も練習し、小学生による獅子舞も披露した。 《絵画展》有玉小学校・積志小学校の児童250名に流鏝馬等、伝統文化に関する絵をかいてもらい、そのうち100枚を選出して会場に掲示した。</p>				
事業費	総事業費	362,500 円	補助金額	181,000 円	
評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (住みよい地域づくり)	1	2	3	4	5
(2)補助事業の公益性	1	2	3	4	5
(3)行政関与・ 補助の必要性	1	2	3	4	5
(4)補助の効果	1	2	3	4	5
合 計	15 点				
地域力向上事業実施年度	22 23 24 25 26				
総合評価	<p>・伝統文化に関する児童の絵画展などを実施し、複数の手段で、地域文化に触れ、再認識する切っ掛けづくりとなっている。</p> <p>・地域と学校(児童)が連携することで、地域の伝統文化を継承することができる事業である。今後、中学生や高校生など若者と連携し、地域の伝統文化に触れる機会を増やし、地域の交流がさらに進むことを期待する。</p>				
区協議会					

助成事業 No.4

所属名 区振興課

現 状 完了

事業名	団体名
中野町煙火大会2014	中野町煙火大会実行委員会

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の夏の風物詩としての煙火大会に、よさこい踊り、スポーツ大会等を組み合わせた地域の一大イベントとして定着・発展させる。 ・地域の親睦を図り、明るく住みよい地域づくりを行う。 ・次世代を担う若者の発掘を進める。 ・東区民のふれあいの場を創出する。
------	---

対象	区民及び来訪者
----	---------

内容	内容	日	会場	参加
	輪投げ大会	8月4日	天竜協働センター	6チーム 60人+役員
	グラウンドゴルフ大会	8月7日	天竜川河川敷	6チーム 50人+役員
	少年少女サッカーフェスティバル	7月19・20日	中ノ町小学校	8チーム 180人
	よさこい踊り	8月14日	天竜川河川敷	若者有志
煙火大会	8月14日	天竜川河川敷	観客 約4万人	

成果	<p>◇輪投げ、グラウンドゴルフ大会 夏の高齢者のイベントとして定着してきており、毎年楽しみにしているという声が聞かれるようになった。</p> <p>◇少年少女サッカーフェスティバル 東区区长杯争奪 少年少女サッカーフェスティバルとして、東区全域から参加チームを募集し、2日間実施した。</p> <p>また、プロフットサルチーム「アグレミーナ浜松」の協力を得て、サッカー教室も実施。子どもたちに大変人気であった。</p> <p>◇煙火大会(よさこい踊り) 夏の風物詩として、約4万人の人に見られている。さらに、よさこい踊りなども組み合わせた地域の一大イベントとして発展させている。</p>
----	--

事業費	総事業費	15,413,382 円	補助金額	2,000,000 円
-----	------	--------------	------	-------------

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (住みよい地域づくり)	1	2	3	4	5
(2)補助事業の公益性	1	2	3	4	5
(3)行政関与・補助の必要性	1	2	3	4	5
(4)補助の効果	1	2	3	4	5
合計	16 点				

地域力向上事業実施年度	22	23	24	25	26
-------------	----	----	----	----	----

総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・H24からグラウンドゴルフ大会の規模拡張、そしてH25から少年少女サッカー大会を東区全域を対象とした東区長杯として実施するなど、東区全体のイベントとして定着している。 ・プロフットサルチーム「アグレミーナ浜松」にも協力いただく中で、東区区长杯争奪少年少女サッカーフェスティバルも開催し、交流を広めた。 ・これらのイベントは、地域の方々の力を終結して実施しており、中ノ町地区にとどまらず、東区の活性化に繋がる事業である。 ・煙火大会においては、会場に緊急車両が入れない状況であるので、事故などへの対応として緊急車両が通行できるようにするなど安全への配慮が必要。
------	---

区協議会	
------	--

助成事業 No.5

所属名 区振興課

現 状 完了

事業名	団体名
大船渡市から学ぶ地域防災と大船渡応援イベントの開催	大船渡応援イベント委員会

事業目的	東日本大震災の被災地である大船渡市と交流し、三連動の地震が想定される本地域における地域防災力の強化に活かす。併せて、浜松市が支援する大船渡市の復興支援イベントを行う。					
対象	区民及び来訪者					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講座 中郡中学校生徒による大船渡視察報告 大船渡三陸まるごと体験館(語り部) 熊谷 満枝 氏による震災体験 地域の災害ボランティアリーダーによる防災講座の実施 ・写真展 大船渡市の被災・復興写真を展示 ・大船渡市復興支援 さんま炭火焼、つみれ汁、おにぎりの無料配布等。 					
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日:平成26年11月2日(日) ・会場:西ヶ崎町 泰月院 ・来場者数:約2,500名 ・防災講座 ・写真展 ・大船渡市復興支援:約2,000匹(さんま炭火焼、つみれ汁、おにぎりの無料配布等) ・中郡中学校生徒による大船渡市の物産販売や募金活動 					
事業費	総事業費	1,335,144 円	補助金額	660,000 円		
評価	評価点数					
		低い	やや低い	普通	やや高い	高い
	(1)東区らしさ (住みよい地域づくり)	1	2	3	4	5
	(2)補助事業の公益性	1	2	3	4	5
	(3)行政関与・ 補助の必要性	1	2	3	4	5
	(4)補助の効果	1	2	3	4	5
合 計	17 点					
地域力向上事業実施年度	22	23	24	25	26	
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民250名程度がボランティアスタッフとして参加し、住民同士のつながりが築けた。 ・防災講座や大船渡市の被災・復興写真展で災害への備えの思いを新たにしていた。 ・中郡中学校生徒による大船渡市の物産販売や募金活動により地域住民との交流の場となっていた。 ・今年度で3回目の開催となる。地域の多くの方がボランティアとして協力していることや、大船渡市との交流が引き続き行われていること等、地域の絆やつながりの強化が伺える。 ・今後、より「地域の防災力向上」を前面出して取り組んで実施する必要がある。 					
区協議会						

助成事業 No.6

所属名 区振興課

現 状 実施中

事業名		団体名				
蒲ザクラ植樹祭		蒲ザクラの里実行委員会				
事業目的	蒲地区のシンボル花である「蒲ザクラ」を、芳川沿いに植樹し蒲ザクラの名所とするため、バイオテクノロジーで増殖した苗木を地域住民の手で植樹する。 このことにより、「蒲ザクラ」を通じて人と人の絆や交流を促進する。					
対象	区民及び来訪者					
内容	蒲ザクラ植樹祭 (1)式典(セレモニー)・・・蒲ザクラ植樹式 (2)記念講演・・・樹木医 塚本 こなみ氏 北本市 生涯学習課(蒲ザクラゆかりの地) (3)蒲ザクラ植樹・・・芳川沿いに植樹					
成果	蒲ザクラ植樹祭 ・実施日:平成26年11月30日(日) ・会 場:サーラプラザ浜松 ・式典参加者数:約250名 ・蒲ザクラ植樹 地元住民及び蒲小学校児童・丸塚中学校生徒(約100人)が参加し、芳川沿いに「蒲ざくら」を23本植樹した。					
事業費	総事業費	996,000 円		補助金額	498,000 円	
評価	評価点数					
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	
(1)東区らしさ (住みよい地域づくり)	1	2	3	4	⑤	
(2)補助事業の公益性	1	2	3	④	5	
(3)行政関与・ 補助の必要性	1	2	3	④	5	
(4)補助の効果	1	2	3	④	5	
合 計	17 点					
地域力向上事業実施年度	22	23	24	25	②6	
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地元住民及び蒲小学校児童・丸塚中学校生徒が参加し、芳川沿いに「蒲ざくら」を協働で植樹するなど地域交流がされている。 ・将来、美しい花が咲き、花見ができるようになれば、さらに地域交流も深まると考えられる。 ・このため、地域を巻き込む事業(イベントなど)の実施が期待される。 					
区協議会						

助成事業 No.7

所属名 区振興課

現 状 実施中

事業名	団体名
地域の若者の未来を考える会	東区自治会連合会

事業目的	幅広い年代を対象とした講演会を開催し、次世代を担う若者が健やかに成長するために、地域が、家庭が、できることは何かを、皆で考えるきっかけづくりをする。
対象	区民全住民
内容	・講演会の開催(年3回実施) ・講演会に参加できる人数には限りがあるので、講演の骨子を記録した資料を地域で回覧したり、協働センター等に掲示したりして、参加できなかった皆さんにも浸透させるようにする。自治会組織の強みを活かし、健やかに若者が成長できる環境づくりを地域社会で進めていく。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの成長を地域社会で見守るという意識が生まれた。 地域の連携が強まった。 <p>第1回開催 開催日 平成26年6月1日(日) 14:00~15:30 会 場 浜松市総合産業展示館北館 4階 1号ホール 講 師 (社)静岡県私学教育振興会 常務理事 松村龍夫氏 聴講者 学校保護者、自治会関係者 256名 テーマ 日本人として ~DNAを受け継ぎたいですね~</p> <p>第2回開催 開催日 平成26年8月17日(日) 14:00~15:30 会 場 浜松市総合産業展示館北館 4階 1号ホール 講 師 東区自治会連合会 副会長 稲垣 邦圓氏 聴講者 学校保護者、自治会関係者 180名 テーマ 自分をつくる~郷土の偉人に学ぶ~</p> <p>第3回開催予定 開催日予定 平成27年2月15日(日)14:00~15:00 会 場 東区中ノ町地区自治会館 講 師 水窪地区自治会連合会長 鈴木 貢 氏 聴講者 学校保護者、自治会関係者 テーマ 子育て考 ~家庭・地域の教育力~</p>

事業費	総事業費	210,000 円	補助金額	105,000 円
-----	------	-----------	------	-----------

評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (住みよい地域づくり)	1	2	3	4	5
(2)補助事業の公益性	1	2	3	4	5
(3)行政関与・ 補助の必要性	1	2	3	4	5
(4)補助の効果	1	2	3	4	5
合 計	18 点				

地域力向上事業実施年度	22	23	24	25	26
-------------	----	----	----	----	----

総合評価	
------	--

・PTAや学校教員などの幅広い年代を対象とした講演会を開催し、次世代を担う若者が健やかに成長するための講演会を実施することができた。また、地域や家庭、学校できることは何かを、皆で考える切っ掛けづくりとなった。
 ・今年度の2回の講演会を切っ掛けに区内の絆と団結が生まれた。
 ・また、現代の若者と子育て世代の物事の考え方の相違が見えてきたため、これからの対応方法が課題である。

区協議会	
------	--

区民活動・文化振興事業 No.1

所属名 区民生活課

現 状 実施中

事業名
第6回東区長杯キンボール大会

事業目的	区民の大人から子供まで誰もが参加でき、手軽に楽しめるキンボールの普及を通じて、区民のスポーツ振興及び各地域間の親睦を図ることを目的とする。				
対象	浜松市内に居住する者、浜松市内に通勤・通学する者				
内容	<実施中> ・キンボール教室の開催・・・期間:7月～2月 東区内5協働センター・9小学校体育館で開催中 <実施予定> ・第6回東区長杯キンボール大会の開催・・・平成27年3月8日(日) 会場:浜松アリーナ ・キンボール審判講習会の開催・・・期間:2月 東区内1協働センター・3小学校体育館で実施予定				
成果	<実施中> ・キンボール教室(平成26年7月から平成27年2月の期間)を開催することにより、スポーツを通して地域のふれあいやキンボールスポーツの普及が行われている。7月から12月までの計6回の教室に311人が参加した。 <実施予定> ・第6回東区長杯キンボール大会を平成27年3月8日(日)に浜松アリーナで開催する準備を進めている。 ・第6回大会に向けた審判技術の向上のための審判講習会を3回開催する予定である。				
事業費	決算見込額	365,000 円			
評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (地域課題・地域資源)	1	2	3	4	5
(2)事業の公益性	1	2	3	4	5
(3)事業の効果	1	2	3	4	5
(4)経済性 (費用対効果)	1	2	3	4	5
合 計	16 点				
総合評価	・東区と東区スポーツ推進委員会を中心とした団体(東区スポーツがんばる会)との市民協働事業として平成21年度から継続事業として実施してきた。大会への一般参加者は回を重ねるごとに増えつつある。 ・本年度より、東区スポーツ推進委員会が、各々の校区ごとに教室・審判講習会場の確保と地域へのPR及び参加者確保、審判技術の向上、校区チームづくりへの呼びかけ(主として小学生チーム)を行うことにより、地域との連携を深めることを図った。				
区協議会					

区民活動・文化振興事業 No.2

所属名	区民生活課
現 状	実施中

事業名	『東区・家康公ゆかりの里』推進事業
-----	-------------------

事業目的	浜松市におけるシティプロモーションのテーマである「出世の街 浜松」の発信に寄与し、東区内の「家康公ゆかりの里」推進事業の認知度の向上と地域住民の文化的な資質の向上及び交流人口の増加、地域コミュニティ意識の醸成を目的とする。				
対象	浜松市民 浜松市外の来浜者				
内容	<p><実施済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家康楽市 秋の陣」への東区ブース出店参加(平成26年10月25・26日 会場:浜松城公園駐車場) 東区ブース内容:徳川家康公と東区に関する歴史の紹介パネル展示、東区まち歩きマップの配布、「歴史街道文化振興事業」「俳句の里づくり事業」「東の細道」「絵ばなし」などの事業紹介コーナーの設置。 <p><実施予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史講演会の開催(平成27年2月27日 19:00～えんてつホール) 講師:磯田道史氏(静岡文化芸術大学教授) 講演目:「家康公と築山御前の伝説」 				
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年10月25・26日に開催された「家康楽市 秋の陣」に東区ブースを出店した。 家康公とゆかりのある東区内の史跡等のパネル展示やまち歩きマップの配布、東区が取り組んでいる事業紹介を行い、併せて遠州食品加工業協同組合の協力による物産販売やアンケート回答者への「家康くん缶バッジ」の配布による集客効果もあり、多くの来店者があった。 アンケートに回答された方などへ「家康くん缶バッジ」を885個を配布した。 アンケートでいただいた意見等は次年度の事業計画の参考とする。 				
事業費	決算見込額	950,000 円			
評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (地域課題・地域資源)	1	2	3	4	5
(2)事業の公益性	1	2	3	4	5
(3)事業の効果	1	2	3	4	5
(4)経済性 (費用対効果)	1	2	3	4	5
合 計	17 点				
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・家康楽市への参加は、東区内にある家康公にゆかりのある歴史資源や東区が取り組んできた事業を紹介し、来場した市民に東区を知っていただく機会が出来た。 ・今後、事業を継続するために、実施方法などを再度検討する必要がある。 				
区協議会					

区民活動・文化振興事業 No.3

所属名	社会福祉課
現 状	完了

事業名	東区地域福祉講演会
-----	-----------

事業目的	高齢になっても住み慣れた地域で安心して住み続けることができる町づくりのために、地域住民、自治会、民生委員・児童委員協議会、福祉施設職員等が、何ができるか学ぶことを目的とする。				
対象	地域住民、自治会、民生委員・児童委員協議会、福祉施設職員、社会福祉協議会等				
内容	<地域福祉講演会の開催> 講師：浜松市高齢者福祉課長 大石保之助氏 テーマ：「はままつあんしんネットワーク」について 講師：東区あんしんネットワーク連絡会 地域包括支援センターありたま 鈴木平氏 テーマ：「東区あんしんネットワーク」の取り組みについて				
成果	開催日：平成26年9月20日（土）午後1時30分～午後3時30分 会場：浜松市総合産業展示館北館 4階 1号ホール 参加者：地域住民、自治会、民生委員・児童委員協議会、福祉施設職員、社会福祉協議会等280名 あんしんネットワークの取り組みについて周知することができた。また、日頃の地域での見守り活動（声かけ等）の必要性について考える機会となり、地域福祉の向上につながった。				
事業費	決算見込額	280,000 円			
評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (地域課題・地域資源)	1	2	3	④	5
(2)事業の公益性	1	2	3	4	⑤
(3)事業の効果	1	2	3	④	5
(4)経済性 (費用対効果)	1	2	3	④	5
合 計	17 点				
総合評価	・平成20年度から、「地域福祉講演会事業」として継続して実施してきた。 今年度の講演会開催時に実施したアンケートによると、98%の方から、「大変良かった」「良かった」との回答をいただいた。 (アンケート回収枚数206枚) ・平成26年度以降についても、事業の認知度を向上させるとともに、更に関係団体との連携を強化させ、地域における身近な課題をテーマとした講演会を開催したい。				
区協議会					

区民活動・文化振興事業 No.4

所属名 区振興課・長寿保険課

現 状 完了

事業名
東区大型商業施設との連携事業

事業目的	浜松市や東区が推進する事業や地域住民の活動をPRする場として活用することにより、多くの市民にPRする。				
対象	市民				
内容	①防災啓発のPR展(区振興課) ②おじいちゃん・おばあちゃんに贈る作品展(長寿保険課) 実施内容 蒲小学生の絵画作品をおじいちゃん・おばあちゃんへのメッセージ入りで展示。 ※交通安全に関わる啓発事業については、「東区交通安全声かけ運動」に含む。				
成果	※会場は、いずれもイオンモール浜松市野 ①実施日:平成26年8月5・6日 10:00~20:00 防災フェアとして防災についてのPRと地震体験車による体験を行った。 ・地震体験車 体験者数 500人 実施日:平成26年12月24日 10:00~15:00 東消防署と連携し「東区消防・防災フェア」を実施した。 ・消防車両(ハング車・プロア一車・救助工作車・救急車・消防車)の展示及び乗車体験など ・地震体験車 体験者数 200人 ②実施日:平成26年9月11日~17日 蒲小学校児童185名の絵画とメッセージを展示。				
事業費	決算見込額	68,094 円			区振興課:予算なし 長寿保険課:68,094円
評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (地域課題・地域資源)	1	2	3	4	5
(2)事業の公益性	1	2	3	4	5
(3)事業の効果	1	2	3	4	5
(4)経済性 (費用対効果)	1	2	3	4	5
合 計	17 点				
総合評価	①防災啓発のPR展(区振興課) ・集客力のある大型商業施設で実施したことにより、「防災」「減災」について多くの住民にPRすることができた。 ②おじいちゃん・おばあちゃんに贈る作品展(長寿保険課) ・敬老の日を中心として、児童がかいた絵画とメッセージを展示することで、敬老の日の意識高揚を図ることができた。 大型商業施設において、啓発事業を行うことは多くの方に情報を発信することができるため、今後も継続して実施する。				
区協議会					

区民活動・文化振興事業 No.5

所属名	区振興課
現 状	完了

事業名	東区市民映画音楽祭2014
-----	---------------

事業目的	東区初の音楽分野の地域資源を発掘・活用した「映画音楽祭」を実施し、区民主体の地域づくりを実践するとともに、実行委員会による運営により地域の市民力を発揮・育成する機会とする。 また、老若男女が親しめる映画音楽をキーワードとして実施し、東区の将来像である「人と人 心ふれあう 東区」を具現化させるよう、人の和や地域の絆を構築する。				
対象	東区民及び浜松市民				
内容	「東区市民映画音楽祭」と題し、映画における音楽の重要性などをテーマにしたトークショー、地元演奏団体や第一線で活躍されている音楽家・演奏家等による映画音楽祭を開催。 東区にある施設を活用して、地域住民が参加しやすい環境を整える。 また、事業協賛を募ることにより、地元企業にも応援をいただけるよう工夫する。				
成果	開催日程：平成26年11月2日(日) 開催会場：浜松市立与進北小学校 体育館 来場者等：500名 第1部 映画と音楽についてのトークショー 第2部 アンサンブル・ムジーク弦楽合奏団の演奏 第3部 東区出身の作曲家：村松崇継氏による演奏				
事業費	決算見込額	1,307,000 円	総事業費 1,507,000円(負担率87%)		
評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (地域課題・地域資源)	1	2	3	4	⑤
(2)事業の公益性	1	2	3	4	⑤
(3)事業の効果	1	2	3	④	5
(4)経済性 (費用対効果)	1	2	3	④	5
合 計	18 点				
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市民映画音楽祭において、地域住民(小学生から高齢者)が、地元出身演奏家の演奏を楽しみ、第3部では、小学生が村松崇継作曲の「ゆうき」を合唱した。 地元出身で活躍する芸術家を応援するとともに、音楽を通じて長上地区の活性化に寄与できた。 ・今後も、東区らしい市民映画音楽祭となるよう実施方法を検討していく。 				
区協議会					

区課題解決事業 No.1

所属名	区振興課
現状	実施中

事業名	東区 交通安全声かけ運動 ～交通事故ワースト1脱出大作戦～
-----	-------------------------------

事業目的	交通事故の件数を減少させ、政令指定都市における交通事故件数ワーストから脱出するため、交通事故防止に関する啓発事業を展開する。				
対象	東区民				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○東区交通安全フェアの開催 ○交通安全講演会の開催 ○交通事故削減に関する意識啓発の実施 				
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○東区交通安全フェア <ul style="list-style-type: none"> 開催日程:平成26年12月22日(月)14:00～17:00 開催場所:イオンモール浜松市野 開催内容:静岡県警察音楽隊の演奏 県立浜松東高等学校吹奏楽部の演奏 大道芸人のパフォーマンス 各種シミュレーターを用いた体験型交通安全教室 啓発品配布、パネル展示 来場者:延べ500人 ○交通安全講演会 <ul style="list-style-type: none"> 開催日時:平成26年11月27日(木)10:00～12:00 開催会場:笠井協働センターホール 開催内容:笠井地区の住民を対象として、地域で発生した交通事故の現状を伝え、交通事故にあわない、交通事故を起こさないための講義を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ゾーン30」について説明 ・寸劇の実施及び自動車や自転車の運転シミュレーターの設置 ・反射材など啓発品を配布 参加者数:50人 ○交通事故削減に関する意識啓発の実施 <ul style="list-style-type: none"> 春・夏・秋・年末における交通安全運動実施中の街頭広報(春102人・夏200人・秋107人・年末186人) 毎月10日の「市民交通安全の日」における街頭広報(毎回20人程度・年7回) 交通死亡事故多発交差点(エディオン半田町店付近交差点)における街頭広報(30人年1回) 高校生に対する自転車マナー向上キャンペーンに伴う街頭広報(日体高校35人・浜松東高校39人) 地域の民生委員との連携による高齢者に対する交通安全啓発活動の実施(随時) 				
事業費	決算見込額	486,000 円			
評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (地域課題・地域資源)	1	2	3	4	5
(2)事業の公益性	1	2	3	4	5
(3)事業の効果	1	2	3	4	5
(4)経済性 (費用対効果)	1	2	3	4	5
合計	18	点			
総合評価	<p>・交通安全講演会においては、今年度実施予定の「ゾーン30」について説明を行った。さらに、寸劇を交えたり、自動車や自転車の運転シミュレーターを設置することにより、楽しく交通安全について学ぶことができた。</p> <p>・また、参加者には、反射材などを配布し、交通安全や交通事故削減に関する意識の高揚を図ることができた。</p> <p>・自治会や地域のボランティアが積極的に活動していることから、事業のある程度の成果が現れている。</p> <p>・東区交通安全フェアにおいては、大型商業施設を会場にすることで、幅広い年齢の対象者に啓発活動を行うことが出来た。今後も、同様の事業展開を行っていく。</p> <p><参考>平成26年は、高齢者の死亡事故発生0件(平成25年死亡事故6件中高齢者死亡事故3件)</p>				
区協議会					

区課題解決事業 No.2

所属名	健康づくり課
現 状	完了

事業名	健康力アップ in 東区
-----	--------------

事業目的	健康づくりの意識の向上を図り、区民の健やかな生活の支援を行う。				
対象	東区民				
内容	<p>【開催場所と実施日】 区内食品関連事業者 2店舗で実施 マックスバリュ浜松和田店 6月19日(木) イオン浜松市野店 6月28日(土)</p> <p>【実施内容】 食生活、口腔衛生、運動といった生活習慣が大切であることを、区民が楽しみながら健康づくりの情報を入手できるようなイベントの実施。 ①野菜350グラム当てようクイズ ②子供向け野菜クイズ ③慢性腎臓病(CKD)予防啓発(血圧測定等) ④歯科クイズ ⑤健康に関する情報のチラシを配布 ⑥健康パネルやPOP等で健康情報の掲示 ⑦アンケート調査</p>				
成果	店舗との協働で、一般市民に対し、健康保持増進や生活習慣病予防について広く啓発することができた。 マックスバリュ浜松和田店 6月19日(木) 120人 イオン浜松市野店 6月28日(土) 400人 計 520人				
事業費	決算見込額	84,304 円			
評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1)東区らしさ (地域課題・地域資源)	1	2	3	4	5
(2)事業の公益性	1	2	3	4	5
(3)事業の効果	1	2	3	4	5
(4)経済性 (費用対効果)	1	2	3	4	5
合 計	16 点				
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・大型店舗と協働で取り組むことで、広く一般市民に対し健康づくりの普及啓発を実施することができた。 ・実施にあたり、店舗との連絡調整を図りながら、広く市民に興味をもって参加していただくことができた。 ・今後も生活習慣病予防の対策のためにも、市民に対し地道に普及啓発を行い、継続的に参加してもらえよう、店舗等と協働で魅力ある事業内容を検討しながら引き続き実施していきたい。 				
区協議会					

区課題解決事業 No.3

所属名	区振興課
現 状	完了

事業名	中学生自転車危険予知体験教室
-----	----------------

事業目的	登下校を含め、日常生活における自転車運転のマナーの悪さが目立つ中高生の意識を改善させ、交通事故削減を図る。				
対象	東区内全中学生				
内容	実施内容: 自転車交通事故の再現スタント、その解説 車の死角の体験 参加者: 各中学校の全校生徒、周辺住民				
成果	<p>○天竜中学校 開催日: 平成26年9月3日(水) 参加者数: 約750人(生徒約670人、教員約40人、自治会関係者など住民約40人)</p> <p>○中郡中学校 開催日: 平成26年11月5日(水) 参加者数: 約500人(生徒約450人、教員約30人、自治会関係者など住民約20人)</p> <p><アンケート概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自転車の事故についてはいろんなところで「気をつけて」と聞いていますが、今回、事故の一瞬を見たとき、改めて事故の恐ろしさを知った。」(1年女子) ・「自転車でも運転を一步間違えれば大きな事故につながってしまうことが、実際に見てすごくよくわかったので気をつけないといけないと思った。」(2年女子) ・「自転車の危険性を改めて知ることができた。普通に乘っていると忘れがちになりますが、自転車も車と同じ仲間です。事故を起こせば重大な事故になります。そういうことを認識できた。」(3年男子) 				
事業費	決算見込額	891,288 円			
評価	評価点数				
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い
(1) 東区らしさ (地域課題・地域資源)	1	2	3	4	5
(2) 事業の公益性	1	2	3	4	5
(3) 事業の効果	1	2	3	4	5
(4) 経済性 (費用対効果)	1	2	3	4	5
合 計	18 点				
総合評価	<p>・アンケートの結果、生徒の95パーセントが「ためになった」と回答している。 頭で理解させるのではなく、感覚的に「恐怖」を感じさせて、事故を未然に防止するねらいであり、アンケートの結果を見ても、これ以上の抑止効果を期待できる交通安全教室は、他にないと思う。</p> <p>・東京からプロのスタントマンが来るため、1回あたり、40分の教室で、445,000円の費用がかかるが、実演は、まさにプロによる迫真のものであり、見た者の心に深く長く刻みこまれる抑止効果を考えると、決して高いものではないと考える。</p> <p>・こうしたことから、今後も引き続き、教室を開催していくべきであると思う。</p>				
区協議会					

区課題解決事業 No.4

所属名 健康づくり課

現 状 完了

事業名		ノルディック・ウォークで健康力アップ				
事業目的	健康はままつ21の目標である健康寿命の延伸を図るために、ノルディック・ウォーキングを通じて効果的な運動方法を学ぶとともに、継続的な運動の必要性を理解し地域の高齢者の健康づくりを図る。					
対象	地域や高齢者の健康づくりに関して関心がある者及びすでに高齢者の健康づくりに関する事業に携わっている者等					
内容	保健師による健康チェック及び講話 ノルディック・ウォーキング指導員による指導及び歩行体験 東区内のウォーキングコースの紹介					
成果	<p>○長上協働センター 開催日：平成26年5月14日（水） 参加者数：22人</p> <p>○東部保健福祉センター 開催日：平成26年6月2日（月） 参加者数：19人</p> <p>○天竜協働センター 開催日：平成26年7月7日（月） 参加者数：13人</p> <p><アンケート結果> ・大変満足 61% ほぼ満足 18% 普通 3% 未回答 18% と回答。 ・参加者のほとんどが未経験者であったが、今後については、参加者の51%が、これからノルディック・ウォークを取り入れたいと回答。</p>					
事業費	決算見込額	50,000 円				
評価	評価点数					
	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	
(1)東区らしさ (地域課題・地域資源)	1	2	3	4	5	
(2)事業の公益性	1	2	3	4	5	
(3)事業の効果	1	2	3	4	5	
(4)経済性 (費用対効果)	1	2	3	4	5	
合 計	15 点					
総合評価	<p>・参加者のほとんどが、ノルディック・ウォークの未経験者であったが、通常歩行よりも負担が少なく効果的に運動ができたとの感想が多く、事業終了後に、個人や地域のグループでノルディック・ウォークを継続している者も多数出てきている。</p> <p>・運動を日常生活に取り入れていく必要性を理解するという今回の事業目的は、ほぼ達成できたと思われる。</p> <p>・今後も、自らの健康は自ら守りつくる仕組みづくりを定着させることを目指し、ノルディック・ウォークを通して区民の健康づくりの推進を図っていききたい。</p>					
区協議会						

第5回地域福祉委員会議事概要

日 時 平成26年12月9日(火) 13:30～14:40

会 場 東区役所 33 会議室

出席者 稲垣邦圓、袴田勝次、稲穂貴、小川典男、金指操、亀田順子(順不同、敬称略)
高瀬定佳 長寿保険課長

事務局 根本剛宏

【議題】

町籍簿の作成要領・運用基準について
今年度のまとめについて
来年度の取り組みについて

【委員の意見交換】(委員からの意見)

町籍簿の作成要領・運用基準について

運用基準及びファミリーカードの様式について確認を行った。

今年度のまとめについて

平成26年度は「高齢者の見守り」をテーマとして、地域で高齢者を見守っていくための様々な方法や効果的な事業を研究し、緊急時や災害時において高齢者を守ることが出来る地域での見守り方法を検討した。

その中でも、高齢者の効果的な見守りのためには、高齢者の現状を把握し、災害時などの安全確認や救援救護体制の充実に向け、町籍簿の作成や活用について、東区自治会連合会へ運用の提案を行うこととした。

(※別紙参照)

来年度の取り組みについて

- 高齢者の健康維持のため、外出を促し、様々な社会活動への参加を促す方法を検討する。
- シニアクラブの活動について、現状を把握し、参加者拡大の仕組みづくりを考える。
- 健康な高齢者が積極的に地域活動やボランティア活動に積極的に参加するため、各地区で実際に活動している団体を参考例として、活動の機会を提案する。
- 高齢者のみならず世代間の垣根を越えて、地域住民が全員参加し、交流できる仕組みを考える。

(案)

平成 年 月 日

東区自治会連合会各位

東区協議会 地域福祉委員会
委員長 稲垣 邦圓

高齢者の見守り方法について（提案）

向春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、東区協議会地域福祉委員会におきましては、平成 26 年度は「高齢者の見守り」を協議テーマとし、地域で高齢者を見守っていくための様々な方法や効果的な事業を研究し、緊急時や災害時において高齢者を守ることが出来る地域での見守り方法を検討してまいりました。

その中で、東区内の各地区で高齢者の見守りや災害対策として、「ファミリーカード」を作成し、活用している事例があります。「ファミリーカード」とは、地域に居住する方の現状を把握し、緊急時や災害時に役立つ情報をまとめたものです。

添付資料を参考とし、住みよい町づくり、住民の安心安全に寄与するため、「ファミリーカード」の整備について、ご検討をお願いします。

【添付資料】

- ・〇〇自治会ファミリーカード運用基準（案）
- ・〇〇自治会ファミリーカード
- ・記入について
- ・〇〇自治会住民への依頼文

○ ○ 自治会ファミリーカード

組名			組	世帯主		固定電話番号	-	携帯電話番号	- -	整理番号	
現住所	浜松市東区	町	番地の	マンション・ アパート名		室 番号		号	ファミリーカード 記入年月日	平成 年 月 日	
特に伝えて おきたい事項						建物の形態	[木造系 ・ 鉄筋、鉄骨系]		[平屋 ・ 2階 ・ 2階以上]		
						常時在宅の有無	有・無	災害時の協力の可否	可 ・ 否		
続柄	ふりがな 氏 名	性別	生年月日	年齢	職業	血液型	緊急連絡先の名称 (電話番号)		資格・技能	備考	
世帯主			明 大 昭 平								
						+ -					
			明 大 昭 平								
						+ -					
			明 大 昭 平								
						+ -					
			明 大 昭 平								
						+ -					
			明 大 昭 平								
						+ -					
			明 大 昭 平								
						+ -					

〇〇自治会ファミリーカード運用基準(案)

(目的)

第1条

本基準は、〇〇自治会規約第△条第△項に基づき、ファミリーカード「以下カードという。」の整備並びに運用に関する基本事項を定め、住民の安全安心に寄与することを目的とする。

(定義)

第2条

本カードは、〇〇自治会区域に居住する住民の戸別毎に〇〇自治会が作成管理する台帳であり、災害若しくは緊急時の住民の安全の確認、救援・救護体制ができる最小限の居住者情報を記載したものである。

(対象者)

第3条

- 〇〇自治会区域に居住するすべての住民を対象とする。
- 2 転入者は、転入時にカードを提出することにより対象者となる。
 - 3 転出の申し出があった場合若しくは転出の事実が確認された場合は、その時点で管理ファイルから当該カードを除去する。

(提出方法)

第4条

- カードの提出は、必要事項を記入し、自治会長宛に提出する。
- ※カードの提出は、組長（班長・役員）が集め、自治会長宛に提出する。
- ※カードの提出は、記入済みカードを封筒に入れ密封し、封筒表面に組名および世帯主名を記載し自治会長宛に提出する。

※各自治会の判断により運用を定める。

(情報の利用制限)

第5条

- カードに記載の情報は、災害若しくは緊急時の住民の安全確認、救援・救護活動にのみ利用する。
- 2 カードに記載の世帯主名・番地・電話番号は、〇〇自治会会員名簿の作成に利用することができるものとする。

(情報の更新・変更)

第6条

- カードの記載情報に変更が生じた場合は、第4条に基づき速やかに新カードを提出する。
- 2 管理者は、第1項による提出がなされない場合でも、公知の事実により内容の変更が確認された時は記載情報を改めることができる。
 - 3 新カードが提出された場合、従前のカードは管理ファイルから除去する。

(カードの処分方法)

第7条

第3条第3項及び第6条第3項により除去したカードは、記載情報が外部に漏れない方法により処分する。

(カードの管理)

第8条

- カードの管理は、管理ファイルを作成し保管する。
- 2 カードの管理者は自治会長とし、管理ファイルは自治会長宅で保管する。
 - 3 通常時の閲覧は、自治会長、総務担当副会長、自主防災隊長、民生委員の4名とする。
 - 4 緊急時に管理者は、自治会役員に閲覧させることができる。

【記入について】

組の番号を記入して下さい。

〇 〇 自

世帯主の固定電話番号と携帯電話番号の両方を記入して下さい。

記入しないでください。

組名	組	世帯主	固定電話番号	-	携帯電話番号	-	-	整理番号		
現住所	浜松市東区	町	建物形態、常時在宅の有無、災害時協力の可否は、それぞれ該当する箇所に「〇」をして下さい。			ファミリーカード	平成	年	月	日
特に伝えておきたい事項	【特に伝えておきたい事項】災害時の救助に、事前に把握できれば救助が容易になる事項を記入して下さい。(下記参照)			建物の形態	〔木造系・鉄筋、鉄		ファミリーカード記入年月日			
				常時在宅の有無	有・無	災害時の協力の可否	可・否			
続柄	ふりがな 氏名	性別	生年月日	年齢	職業	血液型	緊急連絡先の名称 (電話番号)	資格・技能	備考	
世帯主			明大昭平							
			明大昭平							
			明大昭平							
			明大昭平							
			明大昭平							

【生年月日】該当する年号に「〇」をつけて下さい。

【緊急連絡先の名称】災害時、第一優先で連絡しなければならない家族等の勤務先等の名称及び電話番号を記入して下さい。

【続柄】世帯主を基準とし「母」「妻」「子」「孫」等と記入して下さい。

【年齢】ファミリーカード記載時の満年齢を記入して下さい。

【職業】ファミリーカード記載時の職業を記入して下さい。

【血液型】上段は「A・B・AB・O型」を記入、下段は「RH型」の符号に「〇」をして下さい。

【資格・技能】取得資格・技能名を記入(下記参照)して下さい。

◆取得資格・技能名の記入例(災害時に役立つと思われる資格・技能)

- ◇医師・看護師・介護福祉士・臨床心理士・歯科衛生士・薬剤師・保育士・栄養士・調理師・ホームヘルパー・アマチュア無線技士(開局済)・自衛官又は元自衛官・警察官又は元警察官・消防隊員又は元消防隊員・建築士又は建築工事経験者・電気工事士・電気主任技術者・土木施工管理技士・危険物取扱者・通訳(英語・中国語)・クレーン玉掛け免許証・フォークリフト免許証・災害ボランティアコーディネーターその他災害時に役立つ技能
- ◇自治会内で、クレーン付きトラック・フォークリフト・チェーンソーを所有し救助活動に使用できる方は備考欄に記入して下さい。

◆特に伝えておきたい事項の記入例(各個人の生活状況に合わせて記入して下さい。)

記入例)・主人は単身赴任により××市に居住 ・非常食の備蓄×日分有り ・祖父は車椅子を使用(歩行困難) ・祖父の主治医は××病院の××科××先生

このカードは、自治会活動以外では使用致しません。〔 〇〇 自治会 〕

(その他)

第9条

本基準に定めのない事項は、自治会役員会に諮り決定する。

付則

第1条

この基準は、平成□年□月□日制定 平成◇年◇月◇日から施行する。

〇〇自治会各位

〇〇自治会
会長

ファミリーカード提出について

××の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、〇〇自治会におきましては、住民の皆様の住みやすい町・安全安心な町づくりを目指し、緊急時、災害時に活用する「ファミリーカード」の整備を行います。

「ファミリーカード」とは、〇〇自治会に居住される皆様の「お名前」、「年齢」、「防災上参考となる血液型」、「緊急連絡先」、「皆様が持っておられる技能・資格」等の情報をまとめ、緊急時、災害時に住民の安全確認、救援・救護体制に役立てるものです。

心配されている災害が発生した際には、「ファミリーカード」に記載されている情報を活用し、住民の安心・安全に努めます。

なお、いただいた個人情報の取扱いにつきましては、自治会活動にのみ使用します。

「ファミリーカード」の記入方法は、別紙「記入について」をご参照ください。なお、記入について分からない項目、記入の意思のない項目については空欄でもかまいません。

提出方法については、記入のうえ、

へ提出してください。



報道発表

区協議会の開催日程（1月）について

区協議会が、次のとおり開催されます。

協議会名	回数	日時	場所	会議内容(予定)	傍聴定員	問合せ先
中区協議会	第10回	1月26日(月) 13:30～	浜松市役所 2階 21会議室	・地域課題について ・その他	6人程度 (先着順)	中区役所 区振興課 TEL:457-2210
東区協議会	第10回	1月27日(火) 13:30～	東区役所 3階 31・32会議室	・(協議)平成26年度地域力向上事業の中間評価について ・地域課題について ・その他	10人程度 (先着順)	東区役所 区振興課 TEL:424-0115
西区協議会	第10回	1月28日(水) 13:30～	西区役所 3階 大会議室	・地域課題について ・その他	5人 (先着順)	西区役所 区振興課 TEL:597-1112
南区協議会	第10回	1月21日(水) 13:30～	南区役所 3階 大会議室	・地域課題について ・その他	10人 (先着順)	南区役所 区振興課 TEL:425-1120
北区協議会	第10回	1月29日(木) 13:30～	引佐健康文化センター 2階 会議室1・2	・(協議)第2次「浜松市中山間地域振興計画(案)」のパブリックコメントの実施について ・地域課題について ・その他	5人程度 (先着順)	北区役所 区振興課 TEL:523-1168
浜北区協議会	第11回	1月22日(木) 13:30～	浜北区役所 3階 大会議室	・地域課題について ・その他	10人 (先着順)	浜北区役所 区振興課 TEL:585-1141
天竜区協議会	第11回	1月27日(火) 14:00～	天竜区役所 2階 21・22会議室	・(諮問)浜松市立熊切小学校の閉校、浜松市立熊切幼稚園の閉園について ・(協議)浜松市立熊切幼稚園の位置変更について ・(協議)第2次「浜松市中山間地域振興計画(案)」のパブリックコメントの実施について ・地域課題について ・その他	5人程度 (先着順)	天竜区役所 区振興課 TEL:922-0013

※ 傍聴の申し込みは、各区役所区振興課へお問い合わせください。

東区協議会 第5回 地域防災委員会 会議要旨

- 1 開催日時 平成27年1月19日(月) 午後1時30分～午後3時00分
- 2 開催場所 東区役所 3階 32会議室
- 3 出席者 区協防災委員：高森、岡安、市川雄、鈴木康、森田、山田(敬称略)
区振興課：防災・統計G長 鈴木勝久 合計7人

4 会議内容

(1) DIG 訓練について

(訓練内容)

- ・DIGとはディザスター(災害)、イメージーション(想像)、ゲームの頭文字を取ったもので、今回は家庭内DIGを行った。
- ・自分の家において大きな地震がおきた時を想定し、家の中ではどんな所が危険かなどを考え、確認し、その対処方法を考えた。

(委員からの意見等)

- ・家は安全と思っていたが、実際、DIG訓練を行ってみると危険な個所が多くあることが分かった。
- ・避難ルートの確保など課題が多くある。
- ・家の中に安全な場所をつくる工夫が必要と思った。
- ・自分の家の見取り図を描くのが難しかった。

(2) 平成26年度のまとめについて

(委員からの意見等)

- ・「HUG訓練」「イメージTEN」や「DIG訓練」を地域防災委員会で実施したが、区協議会委員も含め、多くの方に体験してもらいたい。
- ・小中学生をキーワードに、今後も様々な啓発ができると良いと思う。

(3) 平成27年度の取り組みについて

(委員からの意見等)

- ・様々な体験型の訓練を実施しながら、多くの人に発信できる取り組みを計画したい。

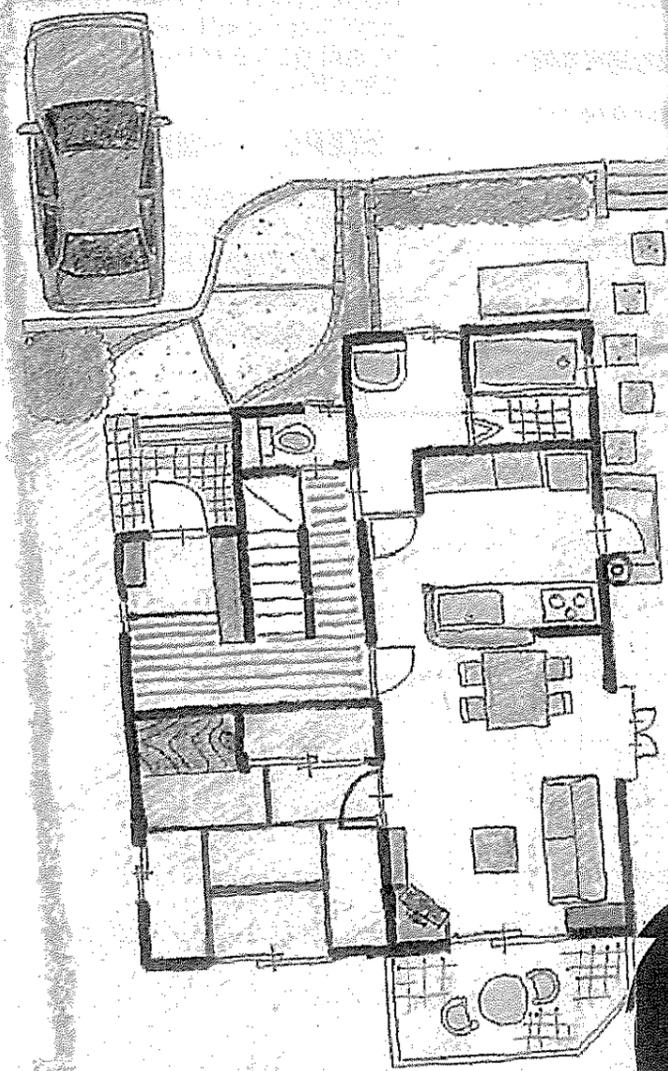
家庭内DIG

ディグ

地震がきても

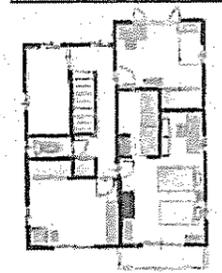
わが家で暮らす

方法



ディグ『DIG』って何??

『DIG』とは、大きな地図を囲みながら、参加者全員で災害時の対応策などを考える訓練のことで、Disaster Imagination Gameの頭文字をとって『DIG (ディグ)』と名付けられました。英語の動詞“dig”には、「掘り起こす、探求する、理解する」といった意味があります。『DIG』という名称には「防災意識を掘り起こそう」「地域を探求しよう」「災害を理解しよう」といった、この訓練のねらいが込められています。



こんな避難生活をするのではなく、引き続き自宅で生活したいものです。地震の後、電気・ガス・水道が止まってしまったり、不自由な中、いかにして自宅で生活していくか、そのためには、どのような準備をしておけばいいのか、この家庭内DIGを使って家族で話し合ってみましょう。

これまでに起きた地震では、家屋の倒壊のほか、家具の転倒や落下物、ガラスの破損などにより、多くの方がケガをし、命を落とされました。「いつ起きても不思議ではない」といわれる東海地震においても、対策を取らなければ、大きな被害があることは明らかです。東海地震が起きた時、自宅を命を落とさない、ケガをしないためにはどうすればよいか、考えてみましょう。また、過去の災害では、多くの被災者が避難所に押し寄せ、避難所での生活は大変過酷なものでした。

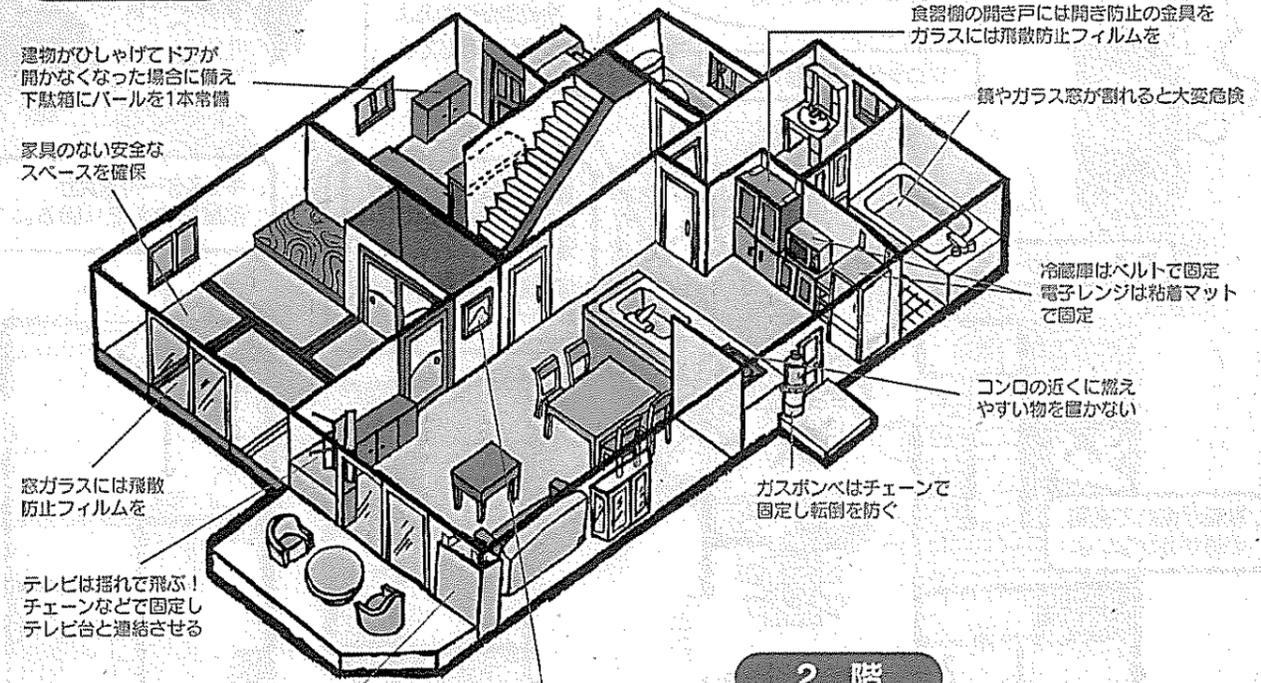
家具類の転倒防止

地震のとき、家具の転倒や棚からの物の落下、ガラスの破片などで、たくさんの方が死亡したり、ケガをしています。タンスや食器棚などの家具のほか、冷蔵庫やテレビなどの電化製品にも転倒や落下防止対策が必要です。窓ガラス等には飛散防止対策をしてください。また、寝室には、家具を置かない、家具を置く場合には、置く場所を工夫するなど安全に対する備えが必要です。

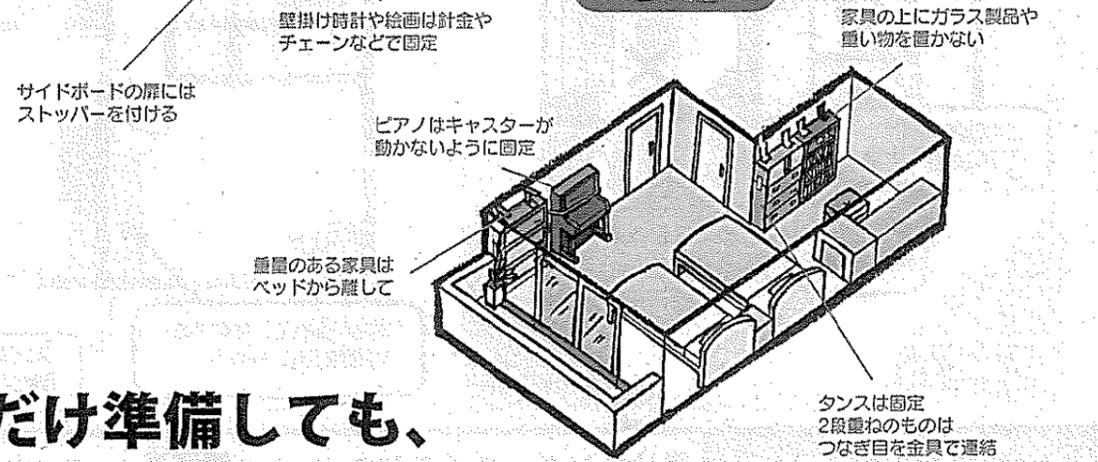
地震が起きても

わが家で暮らす方法

1階



2階



これだけ準備しても、家が倒壊してしまったら…。やっぱり耐震化が大切です。

自宅が昭和56年5月31日以前に建てられた木造住宅の場合は、まずは耐震診断を受けてみましょう！耐震診断は無料で受けることができます。また、耐震補強工事には、県や市町から補助金が出ます。詳しいことは、お住まいの市町の建築の窓口にお問い合わせください。

CHECK

右のステップで
わが家の危険度を
チェック
してみよう!!

STEP1 ~平面図を描く~

下の枠内に自宅の平面図を描いてみよう

STEP2 ~危険な場所を探す~

右のページを参考に、自宅の危険な場所
をチェックしてみよう。

STEP3 ~元栓等の位置を確認~

電気のブレーカー、ガスの元栓やマイコ
ンメーターの場所を確認しよう。

過去の災害では、停電回復後の通電火災が多数発生しています。
災害発生後、避難する場合は必ずブレーカーを落としてから避難
しましょう。ガスの元栓も忘れずに。

STEP4 ~避難経路の確認~

地震発生後の家の中は、倒れた家具や割れ
たガラスなどで屋外に出るのは至難の業で
す。普段過ごす部屋から屋外への避難経路
を考えてみよう。

STEP5 ~震災後の生活を考える~

地震発生後もわが家で生活するため、次の
ことを考えておきましょう。

☆どの部屋で生活するか?

☆食料、飲料水はどうする?

☆トイレの問題は?

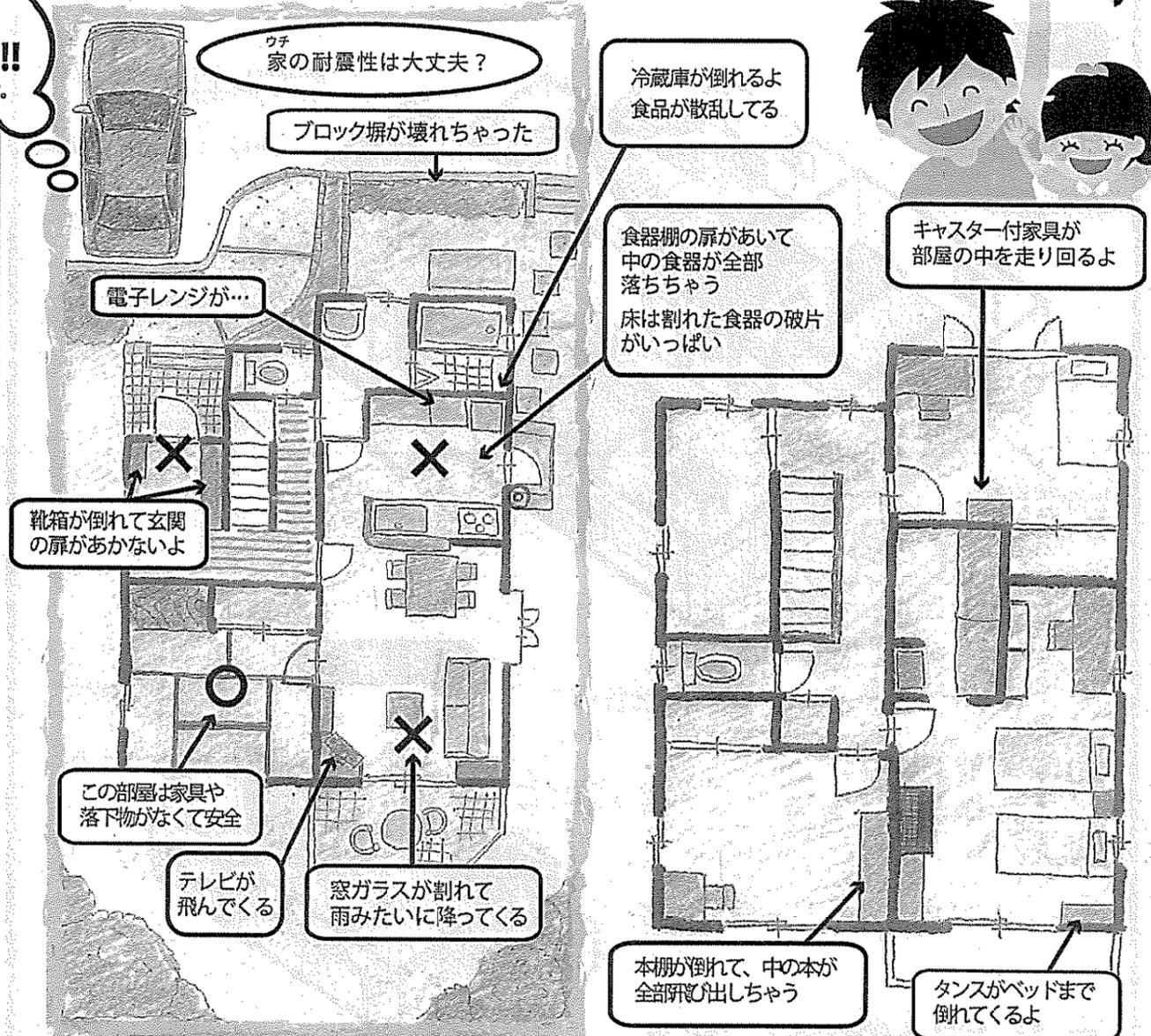
☆寒さ対策は?

こんな感じで
まとめてみよう!!
あぶない場所がよくわかるよ。

DIGをしてみると、よくわかる

地震が起きた時、わが家の ここが危険!

準備しておけば
安心だね。



家の中や 周辺の 危険箇所

■リビング・ダイニング

テレビ=飛んでくる
本棚=転倒して、中の本が全部飛び出す
ピアノ=部屋の中を走り回る
窓=割れて部屋の中に破片が散乱する
掛時計=落ちてガラスの部分が割れる
照明=落ちて、蛍光灯が割れる

■キッチン

食器棚=扉が開いて中の食器が落ち、床に
割れた食器が散乱する
冷蔵庫=転倒して、中の物が散乱する
電子レンジ=飛んでくる

■寝室

タンスやドレッサーなどの家具が転倒する

■子供部屋

学習机=上の棚が倒れる
本棚=転倒して中の本が全部飛び出す
キャスター付家具=部屋の中を走り回る

■屋外

ブロック塀=倒れて粉々になる
物置=転倒する

■集合住宅の共用部分

エレベーター=停止する

ご来場の方には
第七回「十湖賞」俳句大会
**入選句集
無料配布**



入選句発表

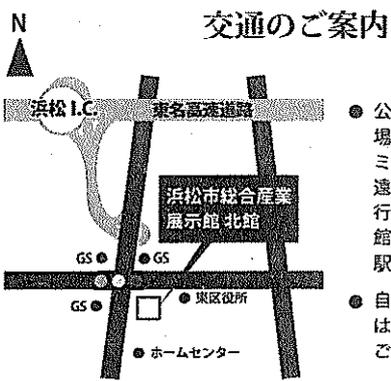
表彰式

第七回
十湖賞
俳句大会



〔日時〕平成27年
2月11日(水)
午前10時～正午(開場午前9時30分)

〔場所〕**浜松市総合産業展示館北館4階1号ホール**
(浜松市東区流通元町20番2号)
※入場無料



高柳 克弘 氏 ミニ講演会

「芭蕉に学ぶ俳句の作り方」

《プロフィール》

1980年、浜松市西区生まれ。2002年、俳句結社「鷹」に入会し、藤田湘子に師事。2004年、第19回俳句研究賞受賞。2005年、「鷹」編集長就任。2008年、評論集『凜然たる青春』により第22回俳人協会評論新人賞受賞。2010年、第一句集『未踏』により第1回田中裕明賞受賞。現在、読売新聞夕刊「KODOMO俳句」など、様々な俳句大会で選者を務める。2014年に「浜松市やらまいか大使」に就任。



《お問い合わせ先》
浜松市東区役所 区振興課 TEL: 053-424-0115
浜松市東区役所守衛室(当日) TEL: 053-424-0211

■主催／浜松市東区俳句の里づくり事業実行委員会、浜松市 ■協力／浜松文芸館
■後援／静岡県教育委員会、浜松市教育委員会、静岡県俳句協会、中日新聞東海本社、静岡新聞社・静岡放送、NHK静岡放送局、テレビ静岡、静岡朝日テレビ、だいいちテレビ、Kmix、FM Harol、ケーブル・ウィンディ



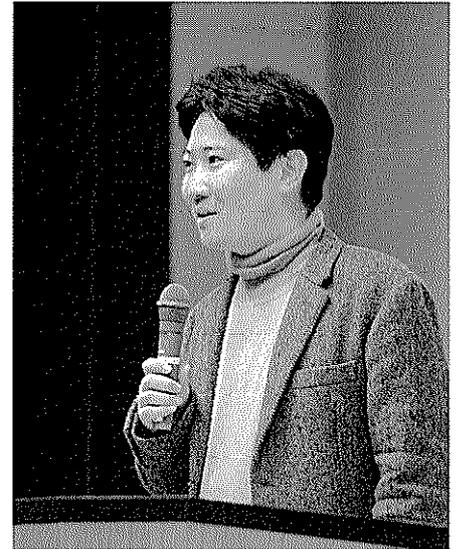
平成26年度 東区地域力向上事業

『東区・家康公ゆかりの里』推進事業 歴史講演会

「家康公と 築山御前の伝説」

講師 磯田 道史氏

(静岡文化芸術大学教授)



(講師プロフィール)

磯田道史 (いそだ・みちふみ) 氏

1970年岡山県岡山市生まれ。2002年慶応義塾大学大学院文学研究科博士課程修了。慶応義塾大学非常勤講師を経て2004年茨城大学人文学部助教授、2007年准教授。2012年静岡文化芸術大学文化政策学部に准教授として着任。2014年より教授。著書『武士の家計簿』『近世大名家臣団の社会構造』『殿様の通信簿』他多数。新聞、雑誌などにも執筆。また、SBS『磯田道史の目からウロコの新事実! 郷土のHERO 家康』などテレビ出演でも活躍。徳川家康公顕彰400年事業として設立された徳川みらい学会のアドバイザーも務めている。

日時 平成27年2月27日(金) 定員 500名
午後7時から午後8時30分 (開場 午後6時30分)

入場整理券
必要

会場 えんてつホール(遠鉄百貨店新館8階) 浜松市中区旭町12番地の1

対象者: 浜松市内に居住または、浜松市内に通勤・通学する人

申込み: 1月26日(月)から東区役所区民生活課3階(配布時間:月~金 8:30~17:15)と東区内5協働センター(配布時間:月~土 8:30~17:15)で入場整理券(無料)を配布します。ただし、1人2枚まで。

会場へのアクセス

※えんてつホールには駐車場はありません。

周辺の駐車場をご利用いただくか、公共交通機関等でご来場ください。

(お問い合わせ先) 浜松市東区役所 区民生活課
〒435-8686 浜松市東区流通元町20番3号
電話 (053) 424-0164 FAX (053) 424-0131

